

第 62 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 25 年 3 月 26 日(火)－28 日(木)

近畿大学 東大阪キャンパス(2013 年 原子力学会 春の年会 附設展示会会場)

2. 来訪者:15 名

3. 説明概要:

2013 年 原子力学会 春の年会 附設展示会会場において、来訪者に核融合、ITER などに関する資料を配布し、ITER 計画について説明するとともに、ITER 機構職員募集および登録案内を行った。(ITER 統合支援 Gr 大原、上野)

4. 主な Q&A

Q:現在 ITER 機構で働いている日本人は何人いるのですか？

A:ITER 機構の職員総数は現在 452 人です。専門職員が 294 名、支援職員が 158 名で構成されております。日本からは専門職員が 27 名、支援職員は 6 名の方々が働いております。日本国籍の方の割合は、専門職員が 9.2%程度となっています。この倍の日本人が ITER 機構で働けるよう我々原子力機構は支援を行っております。

Q:ITER 機構職員募集や応募方法について具体的に教えてください。また面接はどのように行われるのですか？

A:ITER 機構の職員募集は、不定期に ITER 機構のホームページ(<http://www.iter.org/jobs>)に掲載されます。このページで、現在募集中のポストやその職務に関する情報、募集のプロセスに関する説明などを見ることができます。募集されたポストの職務に求められる要件とご自分の経歴などを照らし合わせた上で、応募をご判断ください。

応募は同ホームページ(<http://www.iter.org/jobs>)上で、所定のフォームにご自分の情報を入力し、ITER 機構へ送信すれば手続きは完了します。

応募後、ITER 機構による書類審査に合格すると、次に ITER 機構が行う面接による審査を受けます。面接は ITER 機構の複数の面接者とテレビ会議システムを用いて面接することになります。テレビ会議で面接を行うのは、世界中のどこからでも平等な条件で面接を受けられるようにするためです。

この面接審査に対する支援として、原子力機構が実施している登録制に加入していただきますと、模擬面接ビデオを閲覧することもできます。また面接審査の対象の方の希望により、面接のトレーニング(自己負担なし)も行っています。スカイプ等のシステムをご準備頂きますと、ご自宅のパソコンからこの面接トレーニングを受講できます。ぜひご活用ください。

登録制への加入方法については、下記の URL をご覧下さい。

http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu_midashi1_information_system.html

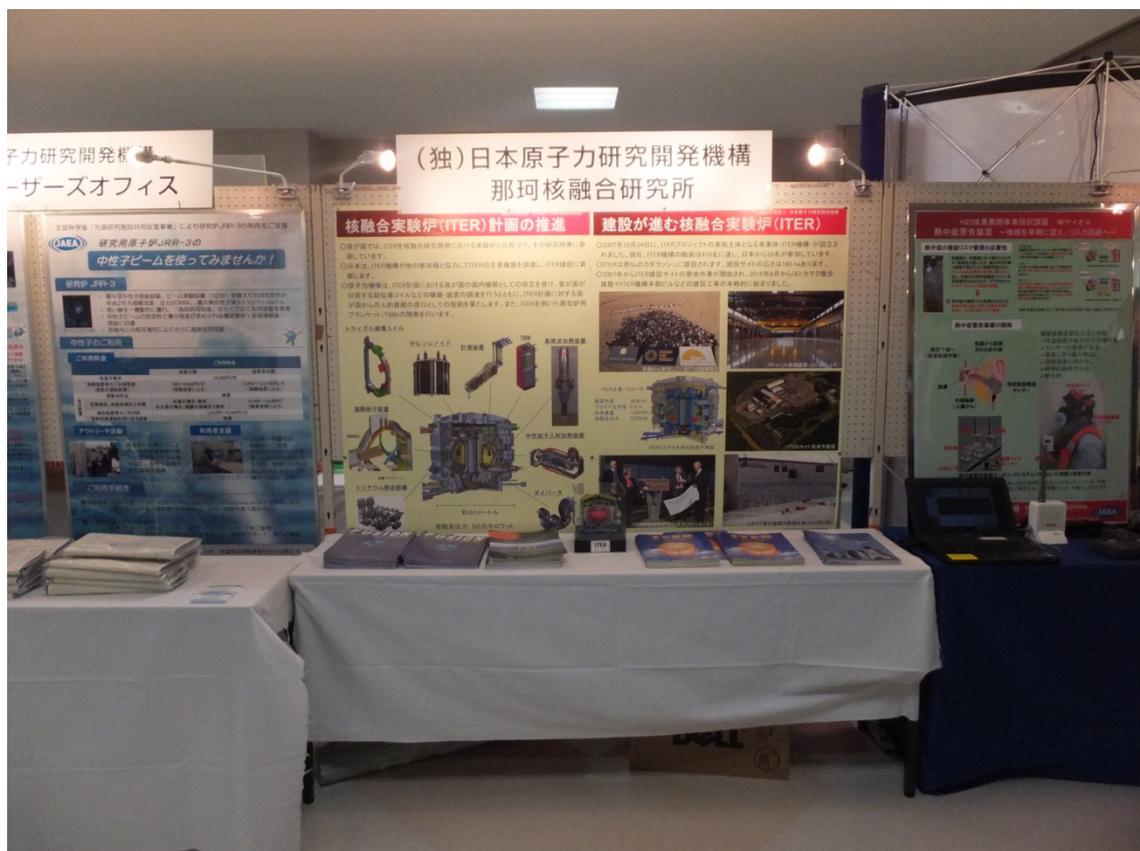
Q: 職務経験に関してですが、募集されているポジションと全く同一の職務経験が求められるのですか？

A: 職務経験については、募集ポジション毎に Job Description に記載されていますので、それぞれ要求される条件をみたくする必要があります。一般的には、募集されているポジションと同じ分野等における経験が求められます。

ご自身の経歴に照らし合わせて、関連するポジション、可能性のありそうなポジションに積極的に応募されたらよいと思います。

Q: ITER 建設地の状況を教えてください。

A: 2010 年 8 月に建屋の基礎工事が本格的に開始されて以来、ITER 建設工事は順調に進展しています。2012 年 4 月には、トカマク複合建屋が建設されるピットの内壁整備と免振パッド設置作業が完了しました。また、2012 年 10 月からは、新たに建設された ITER 機構本部ビル(地上 5 階、地下 1 階高さ 20m、長さ 180m)が完成し、新しい本部ビルに 2013 年 1 月 17 日には 200 名に及ぶ来賓の方々が見守る中で除幕式典が開催されました。来賓の方々からは ITER 計画推進支持への力強いメッセージが寄せられました。



2013 年原子力学会“春の年会”展示会会場の様子